

# 愛知県公文書館年報

第38号

2024年度





# 目 次

## I 愛知県公文書館の概要

1	目 的	1
2	沿 革	1
3	組 織	3
4	業務内容	3
5	予算額の推移	3
6	施設の概要	4
7	所蔵状況	5

## II 愛知県公文書館の業務

1	公文書等の収集・整理	7
	(1) 公文書	7
	(2) 刊行物等	7
	(3) 古文書等	7
	(4) 旧公印	7
	(5) 県史収集資料	7
2	公文書等の保存	8
	(1) くん蒸・配架	8
	(2) 複製物の作成	8
	(3) 資料の修復・保護	8
3	利用状況	8
4	所蔵資料の展示	10
5	歴史資料講演会の開催	11
6	愛知県公文書館の魅力発信プロジェクトの実施	11
7	調査・研究	11
8	機関誌の発行	11
9	『愛知県史』等の販売	11
10	その他	11
	(1) 所蔵資料検索システム	11
	(2) デジタルデータ閲覧サービス	12
	(3) バーチャル文書館	12

# I 愛知県公文書館の概要

## 1 目的

県の諸活動や歴史的事実を記録した公文書は、県民共有の知的資源であるとともに、県政が適正かつ効率的に運営されるよう、その歩みを後世に伝える貴重な歴史的資源である。

愛知県公文書館は、そうした歴史的価値のある県の公文書その他資料を収集し、整理し、及び保存するとともに、その活用を図り、もって学術及び文化の発展に寄与することを目的としている。

## 2 沿革

- 1979. 1. 22 県及び県議会に対し「公文書保存について」要望（愛知県の歴史資料保存をすすめる会代表 塩澤君夫氏）
- 9. 26 県議会に対し「公文書保存体制確立について」請願（愛知県の歴史資料保存をすすめる会会員 結城陸郎氏ほか16名）
- 10. 22 9月定例県議会において、上記請願を全会一致で採択
- 1980. 3. 10 公文書館設立に係る諸課題を調査研究するため、総務部文書課に「公文書館問題研究班」を設置
- 10. 17 「公文書館問題研究班」が「公文書館問題調査報告書」を作成
- 1981. 4. 13 「歴史的資料としての公文書の保存制度（公文書館制度）の試行的発足に伴う保管文書等の取扱いについて」依命通達
- 4. 17 県民有識者参加のもとに「県立公文書館構想懇談会」を設置
- 12. 21 「県立公文書館構想懇談会」の座長が知事に「県立公文書館（仮称）の基本的な構想について」の意見書を提出
- 1982. 5. 31 県民有識者参加のもとに「県立公文書館運営問題検討会議」を設置
- 1983. 4 国立史料館（当時）、水産資料館（当時）所蔵資料のマイクロフィルム化に着手（水産資料館分は年度内に事業完了）
- 10. 27 「県立公文書館運営問題検討会議」の座長が知事に「県立公文書館（仮称）の運営に関する意見」を提出
- 1984. 4 国立公文書館内閣文庫所蔵資料のマイクロフィルム購入、併せて国立史料館、水産資料館、国立公文書館内閣文庫所蔵資料の複製本化に着手（水産資料館、国立公文書館内閣文庫分は年度内に事業完了）
- 1985. 4 財団法人徳川黎明会（当時）徳川林政史研究所所蔵資料のマイクロフィルム化に着手
- 1986. 2. 19 愛知県自治センター竣工
- 3. 24 「愛知県公文書館条例」を議決（3月26日公布、7月1日施行）
- 4 財団法人徳川黎明会徳川林政史研究所所蔵資料の複製本化に着手
- 6. 25 「愛知県公文書館規則」公布（7月1日施行）
- 6. 30 公文書館開館式典を挙げる
- 7. 1 公文書館開館（初代館長 藤原恂二）

1987. 12. 15 「公文書館法」公布（1988年6月1日施行）
1988. 4. 1 行政委員会等文書の収集開始
1989. 2 国立史料館、財団法人徳川黎明会徳川林政史研究所所蔵資料のマイクロフィルム化完了
- 4 本館所蔵公文書・行政刊行物のマイクロフィルム化に着手
1990. 3 国立史料館、財団法人徳川黎明会徳川林政史研究所所蔵資料の複製本化完了
4. 1 公文書館資料課の分掌事務に「県史編さんに関すること」を追加（愛知県行政組織規則の一部改正）
10. 31 「愛知県史資料編さんに関する検討会」を設置
1991. 9. 20 「愛知県史資料編さんに関する検討会」の座長が総務部長に「愛知県史資料編さんに関する報告書」を提出
1992. 6. 15 「愛知県史資料懇談会」を設置
11. 12 「第18回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会」を開催（11月12日・13日）（全史料協・愛知県主催）
1993. 3. 10 「愛知県史資料懇談会」の会長が知事に「愛知県史資料の調査収集及び県史の編さんについて検討結果報告書」を提出
7. 16 「愛知県史編さん準備会議（全体会議）」を開催
1994. 4. 1 県史編さん事務が総務部文書課の事務となる  
県史編さん事業を開始
1997. 12. 1 『愛知県公文書館だより』創刊
1999. 1 公文書館Webサイト開設
4. 1 総務部文書課の直接管理となる  
館長は文書課長の兼務、副館長は文書課主幹の兼務となる
2000. 4. 1 部制再編に伴い総務部総務課所管となる  
館長は調整監兼総務課長の兼務、副館長は総務課主幹の兼務となる
2002. 4. 1 職制の見直しに伴い館長は総務部総務課長の兼務となる
2004. 3. 22 「所蔵資料検索システム」稼働
4. 1 「総合文書管理システム公文書館サブシステム」稼働
2006. 4. 1 本庁組織の見直しに伴い総務部法務文書課所管となる  
館長は法務文書課長の兼務、副館長は法務文書課主幹の兼務となる
2019. 4. 1 本庁組織の見直しに伴い総務局総務部法務文書課所管となる
2020. 3. 13 『愛知県史』全58巻の刊行が完了
2020. 3. 27 公文書館Webサイトをリニューアル、「バーチャル文書館」を開設
2020. 4. 1 新「所蔵資料検索システム」稼働  
職名変更により副館長は法務文書課担当課長の兼務となる  
県史編さん事業の完了に伴い県史収集資料が公文書館に引き継がれる
2020. 12. 23 県史収集資料の公開開始
2023. 3. 29 『愛知県公文書館研究紀要』創刊

### 3 組織

総務局総務部法務文書課公文書館グループ			
館長	副館長	主査(班長)	職員 20名
(法務文書課長兼務)	(法務文書課担当課長兼務)		
			(うち 再任用職員 3名 非常勤職員 14名)

### 4 業務内容

- (1) 公文書等を収集し、整理し、及び保存すること。
- (2) 公文書等を利用させること。
- (3) 公文書等を展示すること。
- (4) 公文書等に関する調査研究を行うこと。

### 5 予算額の推移

#### 年度別当初予算額

(単位：千円)

区分	2022年度	2023年度	2024年度
管理運営費	3,204 (1,180)	2,996 (999)	6,470 (4,445)
文書整理費	5,916 (4,892)	6,013 (4,946)	6,657 (5,616)
公文書館情報発信機能強化事業費	1,515 (1,515)	1,366 (1,366)	1,366 (1,366)
計	10,635 (7,587)	10,375 (7,311)	14,493 (11,427)

※ ( ) 内は、予算総額のうち事業費の額である。

## 6 施設の概要

### (1) 場 所

名古屋市中区三の丸二丁目3番2号 愛知県自治センター7・8階

### (2) 施設面積

2,166.12㎡

書庫	1,027.29㎡
開架室	201.80㎡
閲覧室	254.46㎡
閲覧和室	31.02㎡
展示室	112.80㎡
事務室、整理室等	538.75㎡

### (3) ハロンガス消火設備

書庫、整理室Ⅱ・Ⅲ、保管室、マイクロ保管庫

### (4) 床荷重補強

書庫部分 最高 1,200kg/㎡

### (5) 資料の収蔵能力

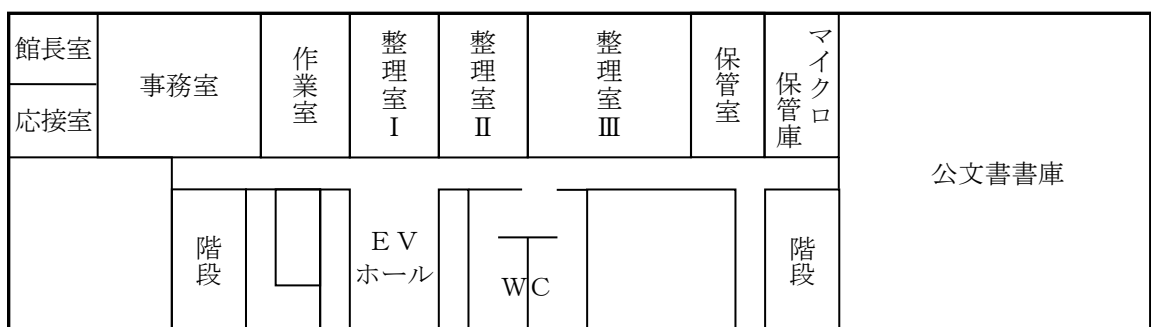
約31万冊（書架延長14.4km）

### (6) 公文書館の平面図

7階



8階



## 7 所蔵状況

(単位：冊・巻・点)

資料区分		開館時 (1986年)	2020年度末	2021年度末	2022年度末	2023年度末
公文書	原本	28,429	74,828	74,251	74,317	75,562
	複製本	1,116	6,870	6,870	6,870	6,870
	マイクロフィルム	2,567	9,767	9,767	9,767	9,767
	計	32,112	91,465	90,888	90,954	92,199
刊行物等	原本	5,474	85,668	86,449	87,146	88,084
	複製本	0	20	20	20	20
	マイクロフィルム	0	3,114	3,114	3,114	3,114
	計	5,474	88,802	89,583	90,280	91,218
古文書等	原本	0	4,563	4,563	4,614	4,571
	複製本	0	28	28	28	28
	マイクロフィルム	0	90	90	90	90
	計	0	4,681	4,681	4,732	4,689
旧公印		0	386	390	393	394
県史収集資料	文書	0	48,343	66,765	80,953	88,083
	写真	0	2,044	2,061	2,061	2,061
	計	0	50,387	68,826	83,014	90,144
合計		37,586	235,721	254,368	269,373	278,644

※ 公文書には、地籍図・地籍帳、愛知県庁文書、名古屋藩庁文書、郡役所文書等を含む。

### (参考) デジタルデータ化済み資料

実施年度	資料名	数量(冊・点・枚)	保存媒体
2002年度	地籍帳	2,424	CD-ROM
2003年度	藩庁文書・県庁文書等	923	CD-ROM
2004年度	地籍図	2,208	DVD
2011年度	伊勢湾台風被害写真	2,034	DVD

※ 他に、古文書等2,882点、県史収集資料73,091点(文書71,030点、写真2,061点)のデジタルデータを公開済み(2023年度末)



## 特色ある所蔵資料

資料区分	内 容	公開冊数
名古屋藩庁文書 (幕末～明治4年)	明治初期における名古屋藩が作成・管理していた文書。旧尾張藩時代から引き継いだものや廃藩置県以後の記録も含まれている。名古屋藩における職制・藩制等の改革に関する一連の文書や新政府への報告書等がある。	195冊
愛知県庁文書 (明治5年～昭和初期)	明治5年(1872年)の愛知県の成立から昭和15年(1940年)までの文書。愛知県成立以前の尾張・三河の旧県庁からの引継文書も含まれている。草莽諸隊の士族復籍運動に関する文書や明治期の学務課文書などがある。	220冊
地籍図・地籍帳	明治16年(1883年)の内務省達乙第16号によるもので、明治17年(1884年)3月17日付け愛知県布達乙第44号に基づき各郡区戸長から提出されたもの。県内のほとんどの地域のものがある。 なお、地籍図・地籍帳とも、原本を保護するため複製図又はデジタルデータを利用に供している。	地籍図 2,208枚 地籍帳 2,424冊
郡役所文書	明治11年(1878年)から大正15年(1926年)まで設置された郡役所の文書。郡役所が廃止された後、県庁に引き継がれた文書と県事務所に引き継がれた文書がある。郡役所で管理されていた公文書以外の資料(尾張名所図会、信長記など)も含まれている。	349冊
徳川林政史研究所所蔵 「愛知県庁文書」等	主に幕末から明治前期にかけての愛知県成立期における本県の状況がわかる文書。旧藩書類、旧県々書類、学校願伺留、尾参士族名簿など各分野にわたる。	複製本 2,056冊
国文学研究資料館所蔵 「愛知県庁文書」	明治6年(1873年)から昭和初期にかけての本県に関する文書。共進品評博覧会一件、会社関係書類綴、貸下金決議留、北海道移住民一件など兵事、学事、商工、土木を中心とする。	複製本 2,404冊
水産資源研究所図書資料館所蔵「愛知県庁文書」	明治中期から大正にかけての本県に関する文書で、水産関係を中心とする。	複製本 78冊
国立公文書館所蔵 「愛知県史料」	内閣文庫が所蔵する「府県史料」のうちの本県分	複製本 23冊
古文書等	愛知県教育会等文書、宮脇家文書、大塚家文書、大脇家文書(寄託)など	4,689点

### 他機関所蔵「愛知県庁文書」について

昭和13年(1938年)、現在の県庁舎が竣工し、南武平町の旧庁舎から移転した際、多数の古い公文書が廃棄決定され、明治期の公文書の多くが財団法人尾張徳川黎明会(当時)に下附された。その一部が現在、公益財団法人徳川黎明会徳川林政史研究所、大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館に所蔵されている。また、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所図書資料館には、水産関係の愛知県庁文書が所蔵されている。

本館では、これらの機関に所蔵されている愛知県庁文書を全てマイクロフィルムで撮影し、複製本を作成して利用に供している。

※ 徳川林政史研究所では、所蔵する愛知県庁文書を「旧名古屋税務監督局所蔵史料」として整理・公開している。

## II 愛知県公文書館の業務

### 1 公文書等の収集・整理

#### (1) 公文書

愛知県公文書館公文書等管理規程に定める選別基準により、廃棄予定文書の中から歴史的価値があると認められるものを収集している。

選別は、保存期間が満了する廃棄予定文書の中から本館だけで行っていたが、2012年度の完結文書からレコードスケジュール（※）を導入し、完結翌年度に、各所属（本庁各課及び地方機関、各種行政委員会等）において一次的な選別を行っている。

また、2018年度からは、レコードスケジュール導入以前の完結文書についても、保存期間満了時に所属が選別を行うこととし、所属と本館のダブルチェック体制としている。

選別後、収集した公文書は件名目次の作成、データ入力などの整理を行い、原則として事案の完結後30年を経過したものを順次利用に供している。

2023年度末現在で利用に供している公文書は、55,512冊・点である。

なお、本館に移管された公文書に関し、公開前に本館の所蔵資料（歴史的価値のある公文書）として適当であるかを改めて再選別（二次選別）し、所蔵資料から除外する作業を2013年度から実施している。これにより、2023年度には977冊を除外した。

#### （※）レコードスケジュール

行政機関の長が、行政文書の保存期間満了前のできる限り早い時期に、保存期間が満了したときの措置（歴史的価値のある文書に該当するものとして公文書館に移管するか又はそれ以外のもので廃棄するか）を定めなければならないとする制度（公文書等の管理に関する法律第5条第5項）

#### (2) 刊行物等

県公報・官報、県の機関が作成した調査統計資料や報告書等の行政刊行物のほか、県内市町村や他機関等から寄贈のあった刊行物等を保存している。

収集した刊行物等は、データ入力などの整理を行った上で配架し、利用に供している。

#### (3) 古文書等

県と関わりのある歴史的価値のある古文書や私文書等の寄贈又は寄託を受けて保存している。

寄贈又は寄託を受けた古文書等は、目録データの作成などの整理を行った上で利用に供している。

#### (4) 旧公印

公印の改刻や組織改編などにより廃止された公印のうち、県印、知事印、地方機関印、地方機関の長印など一部の公印については、廃止後に公文書館に移管している。

#### (5) 県史収集資料

2020年3月に全58巻の刊行が完了した『愛知県史』の編さん事業の過程で収集した歴史資料（一部原本を含む。）約112万点が引き継がれ、マイクロフィルムのデジタル化、公開用目録の作成、原本所蔵者への許諾の手続等、公開に向けた整理作業を進めている。2023年度は、整理作業が終了した14,670点を公開した。

## 2023年度 公文書等収集状況

(単位：冊・点)

区 分		数 量	
公 文 書	知事部局（地方機関を含む。）	1,998	2,222
	行政委員会等（※）	224	
刊行物等	県公報・官報	54	938
	県の機関	561	
	その他	323	
古 文 書 等		0	
旧 公 印		1	
県史収集資料		7,130	
合 計		10,291	

（※）企業庁、病院事業庁及び議会を含む。

## 2 公文書等の保存

### (1) くん蒸・配架

収集した公文書等は、カビや虫害等を防ぐために、くん蒸処理を行った後、書庫に配架している。書庫内には除湿機を設置し、24時間湿度管理を行っている。

### (2) 複製物の作成

破損や汚損から原本を保護するため、必要に応じてマイクロフィルム等の複製物を作成し、利用に供している。

閲覧頻度の高い地籍図については、特殊プリント方式による複製化を行っている。

### (3) 資料の修復・保護

公文書を整理する際に、ステープラの針、クリップ等の金属類の除去、表紙の補修などの修復作業を行っている。

また、劣化の著しいものや古文書等については、資料を保護するため、中性紙の保存袋や保存箱に収納して保存している。

## 3 利用状況

年 度		1986～ 2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	累計
開館日数（日）		8,194	215	233	239	235	9,116
入館者数 （人）	一般利用	121,430	2,778	3,291	3,927	3,220	134,646
	行政利用	21,721	546	531	431	377	23,606
	計	143,151	3,324	3,822	4,358	3,597	158,252
	1日平均入館者数	17.5	15.5	16.4	18.2	15.3	17.4
利用冊数 （冊）	一般利用	177,639	5,100	4,725	5,405	5,214	198,083
	行政利用	103,465	1,857	1,811	1,694	1,679	110,506
	計	281,104	6,957	6,536	7,099	6,893	308,589
	1日平均利用冊数	34.3	32.4	28.1	29.7	29.3	33.9
複写利用枚数（枚）		551,609	19,208	18,092	16,622	15,188	620,719

2023年度 月別一般利用状況

月	開催日数（日）	入館者数（人）	利用冊数（冊・点）	複写利用枚数（枚）
4月	17	195	357	1,727
5月	20	236	317	1,019
6月	22	258	471	1,702
7月	20	240	372	760
8月	22	310	528	1,220
9月	20	236	365	866
10月	21	385	480	1,322
11月	22	435	348	1,453
12月	19	289	470	1,806
1月	18	210	458	641
2月	19	226	602	1,429
3月	15	200	446	1,243
合計	235	3,220	5,214	15,188

年度別・資料別一般利用状況

(単位：冊・巻・点)

区分		年度	1986～ 2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	累計
公文書	公文書		15,810	663	544	440	419	17,876
	地籍図・地籍帳		49,368	1,810	1,809	1,880	1,628	56,495
	他機関所蔵資料		39,777	665	356	436	408	41,642
	計		104,955	3,138	2,709	2,756	2,455	116,013
刊行物等	県公報・官報		14,322	264	217	99	251	15,153
	行政刊行物		37,102	659	522	944	693	39,920
	県史・市町村史誌		5,232	230	183	248	291	6,184
	参考図書等		16,028	641	829	745	657	18,900
	計		72,684	1,794	1,751	2,036	1,892	80,157
県史収集資料	紙 焼		0	138	139	301	217	795
	画 像		0	24	111	310	650	1,095
	写 真		0	6	15	2	0	23
	計		0	168	265	613	867	1,913
合 計			177,639	5,100	4,725	5,405	5,214	198,083

公文書館 Web サイトのアクセス件数（バーチャル文書館含む）

年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
件数	89,665	101,507	99,596	92,652

所蔵資料検索システムのアクセス件数

年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
件数	74,197	67,023	94,777	86,091	89,763	108,018

#### 4 所蔵資料の展示

本館展示室では、資料の利用促進を図るために常設展と企画展に分けて所蔵資料の一部を展示している。

常設展では、「愛知県の成立」や「主な所蔵資料」の展示を行ったほか、ミニ展示として、徳川家康ゆかりの史跡に関する所蔵資料を紹介した「どうなった、家康～所蔵資料にみる家康のあしあと～」や、愛知大学の学生と本館の職員により、災害をテーマとしたコラボ展示「記憶の伝承～記憶を後世につなぐ公文書館～」を実施した。

[ミニ展示]

- 期 間 2023年7月10日（月）～9月15日（金）  
 テーマ 「どうなった、家康～所蔵資料にみる家康のあしあと～」
- 期 間 2024年3月18日（月）～  
 テーマ 「記憶の伝承～記憶を後世につなぐ公文書館～」

企画展では、2023年度に新たに収蔵・公開された二つの資料群（名古屋市吉田家文書、新城市榊原淳一郎氏収集資料）を紹介する「新・収蔵資料展～古文書にみる尾張の町と三河の村～」を開催した。

尾張の町と三河の村の生活を対比させ、尾張と三河の江戸時代の人々の暮らしがどのようなものであったかを、「触留」や「道中日記」などの資料を用いて展示した。



[第49回企画展]

- 期 間 2023年10月10日（火）～12月8日（金）  
 テーマ 「新・収蔵資料展～古文書にみる尾張の町と三河の村～」

## 5 歴史資料講演会の開催

2023年度に新たに本館で公開を開始した県史収集資料（名古屋市吉田家文書、新城市榊原淳一郎氏収集資料）を題材にした「尾張の町と三河の村のものがたり」を開催した。

開催日時：2023年10月15日（日）

会場：愛知県女性総合センター（ウィルあいち）

参加者：123人

講演 1：「名古屋の油問屋と高麗屋吉田家」 曲田 浩和氏（日本福祉大学経済学部教授）

講演 2：「湊行館文庫から見えてくるもの」 湯浅 大司氏（新城市設楽原歴史資料館館長）

## 6 愛知県公文書館の魅力発信プロジェクトの実施

本館の魅力向上・利用促進に向けた新しい取組として、愛知大学と連携し、「愛知県公文書館の魅力発信プロジェクト」と題し、若者の目線でアイデアを提案してもらい、その成果を本館から発信するプロジェクトを実施した。

プロジェクトに応募した学生が、3チームずつに分かれ、「PR動画の制作」又は「ミニ展示コーナーの設置」に取り組んでもらった。中間発表と最終プレゼンテーションを経て、それぞれ優秀案に選ばれた取組について、PR動画については公文書館 Web サイト上で公開し、ミニ展示コーナーでは、学生と本館職員によるコラボ展示を実施した。

## 7 調査・研究

本館が所蔵する公文書等の内容、歴史等について調査・研究を行い、その成果を利用者からの問合せへの対応（レファレンス）や企画展の展示資料の解説などに使用している。また、機関誌の資料紹介コーナーに掲載して、利用者への情報提供を行っている。

なお、本館に複製本がある国文学研究資料館所蔵「愛知県庁文書」については、複製本2,404冊のうち、2023年度末現在で2,120冊の調査及び件名目次の作成が完了している。

## 8 機関誌の発行

愛知県公文書館を広報し、利用促進を図るため、『愛知県公文書館だより』を毎年度発行している。

その年度に実施した企画展を始めとする各種事業の概要や所蔵資料の紹介などを掲載しており、2023年度は、第28号（2024年2月1日）を発行した。

## 9 『愛知県史』等の販売

県史編さん事業の完了に伴い、2020年度から、『愛知県史』、『愛知県史研究』及び『愛知県史民俗調査報告書』の販売を本館において行っている。

## 10 その他

### (1) 所蔵資料検索システム

県民共有の知的資源である本館所蔵資料をより多くの方に利用していただくため、インターネットによる所蔵資料目録情報（簿冊・件名）の検索を行うことができる「所蔵資料検索シス

テム」を2004年3月から運用している。2020年4月1日にシステムを更新し、これにより藩庁文書・県庁文書等、古文書等及び伊勢湾台風被害写真の一部の画像データが閲覧可能となっている。

また、「国立公文書館デジタルアーカイブ」の横断検索の対象となっている。

さらに、2020年12月23日から、整理作業が終了した県史収集資料の目録の公開をしており、一部の資料については画像データの閲覧が可能となっている。

## (2) デジタルデータ閲覧サービス

デジタルデータ化した地籍図・地籍帳、藩庁文書・県庁文書等、伊勢湾台風被害写真は、館内の検索用パソコンで閲覧が可能となっている。

そのうち地籍図については、現在の地名や地図、過去の地名から目的の場所を探して閲覧することができる「地籍図閲覧システム」を2005年度から運用している。

また、2020年12月23日から公開を開始した県史収集資料の一部及び古文書等の画像データについては、館内の画像閲覧専用パソコンで閲覧が可能となっている。

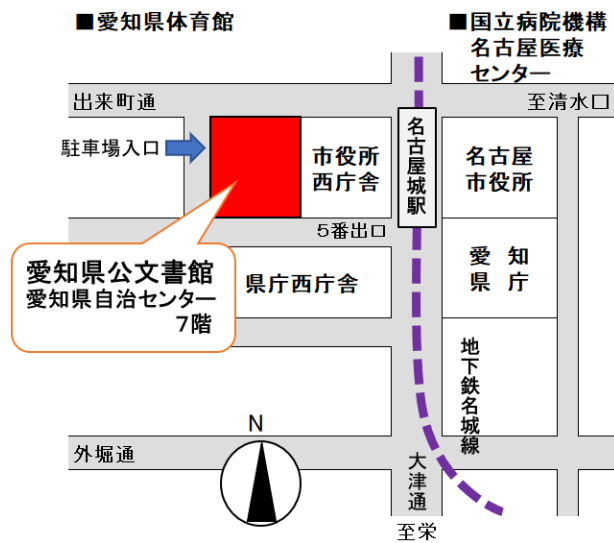
## (3) バーチャル文書館

2020年3月27日に、公文書館 Web サイトのリニューアルに併せて「バーチャル文書館」を開設した。

「バーチャル文書館」では、県史収集資料の一部を解説文とともに紹介するほか、過去の企画展の展示物を紹介するデジタル展示室や、古文書の解説に挑戦する「古文書講座」などを掲載している。

## 《利用案内》

- 1 開館時間 午前9時～午後5時
- 2 休館日 土曜日、日曜日、国民の祝日  
年末年始（12月28日～1月4日）  
整理期間（春季10日以内）
- 3 複写 有料 ※一部、複写できない資料もあります。
- 4 展示 展示室において所蔵資料を中心とした展示を行っています。



地下鉄名城線「名古屋城」下車 5番出口  
市バス・名鉄バス（基幹バス）「市役所」下車

愛知県公文書館年報 第38号 2024年度  
2024年7月発行

発行 愛知県公文書館  
〒460-0001  
名古屋市中区三の丸二丁目3番2号  
愛知県自治センター内  
Tel 052-954-6025（ダイヤルイン）  
Fax 052-954-6902

URL <https://kobunshokan.pref.aichi.jp/>  
E-mail [kobunshokan@pref.aichi.lg.jp](mailto:kobunshokan@pref.aichi.lg.jp)